



感謝の気持ちも込めて、調査に協力してくれた女性たちの写真を展示。訪問者の反応も良好で、大成功。

エウア農業祭、王様にご説明

青年海外協力隊 2018 年度 1 次隊 派遣国：トンガ王国 伊藤有未（三郷市）

前号にて、首都トンガタブ農業祭について紹介させていただきましたが、今回は 8 月初めに任地エウア島で開かれた農業祭の様子をレポートします。

トンガタブとエウアの違いは、規模感と距離感の 2 点です。規模は首都トンガタブの方が、出店者数も来場者数も多く盛大。エウアはこじんまりという印象です。また、ブースに関してもトンガタブ農業祭では、JICA ブースとして他職種

隊員との共同出展でしたが、エウアではブースに立つ説明員は、私のみ。カウンターパートたちも設営で慌しく、人手も少ないので、出展内容としては、テーマを 2 つに絞り、1 つは、着任直後に実施した意識実態調査の結果公表。調査結果に加え、調査に協力してくれた女性たち



文化祭の展示パネルのよう。立ち寄ってくれて、ありがとう。

と配属先で日々活躍する同僚たちの写真を感謝の意も含めつつ、展示しました。

もう一つは健康意識向上のため、「生活習慣を見直そう」との文言が入ったフォ

トフレームを使い、多くの人たちに撮影してもらいました。若い世代を中心に、

積極的に興味を持ってくれて大盛況。ややお遊び要素が強いですが、健康意識を

高めるきっかけになってくれたのではと、満足のいくブース運営となりました。

任地開催では、来場者ともより親しみを持って接することができただけでな

く、今回の農業祭での最大の成果は、何と云っても会場を訪れたトンガ国王陛下

に、直接説明させていただく機会を得たことです。エウア全 15 コミュニティを

巡回し調査したこと、野菜摂取の生活を目指し、生活習慣病対策に取り組んで

いることを伝えました。拙いトンガ語と英語のミックスでご説明しましたが、

王様の表情から察するに、十分にご理解いただけたのかどうか、ちょっと不安に

なりました。反省点としては、日々のトンガ語の勉強を怠っていたこと。また、

要点をまとめられず、伝えたい真髓がぶれてしまったことです。ですが、たと

え上手く伝わっていなくても、1人の日本人がトンガのために一生懸命アクシ

ョンを起こそうとしている。その熱意は伝わったのではないかと思います。



エウア島で生活習慣病対策にあたる保健省と農業省のスタッフ写真。農業祭終盤に撮ったので、皆さんややお疲れ気味。